

## 中国医科大学を訪問して

(2010年5月25日-29日)

香川大学医学部

母子科学講座周産期学婦人科学

教授 秦 利 之

今回、笹川記念保健協力財団と中国医科大学の共同研修事業の一環として、中国瀋陽市にある中国医科大学を訪問する機会を得たので報告する。

5月25日、関西国際空港から中国南方航空にて一路瀋陽市の桃仙空港へと出発した。飛行時間はわずか2時間10分あまりで桃仙空港に到着した。空港には中国医科大学国際交流センターの王さんが出迎えに来て頂いており、宿泊ホテルで休憩したのち中国レストランで国際交流センターの潘教授、今回直接私を招待することを企画して頂いた中国医科大学第二附属病院産婦人科の楊教授、香川大学産婦人科に以前留学していたことのある戴副教授、岩手医科大学に留学していたことのある高先生などの先生方と楽しい食事をする事ができた。



5月26日は午前中、第一附属病院の産科病棟を見学した。第一附属病院の産科病棟は最近出来たばかりで、主任がモウ教授で産科医は12人で月80分産をこなしているとのことであった。昼食は第一附属病院の教授専用レストランでバイキング形式の中華料理をごちそうになったが、非常に綺麗な食堂でしかも美味しい食事をとることができた。午後は第二附属病院（盛京病院）で日本語クラスの4年生の学生さんと

ちに「胎児の神秘を探る」と題して講義を行った。講義のあと、その学生さんたちと  
いろいろ話をする事ができ、有意義な時間を過ごす事ができた。夕食は第二附属  
病院産婦人科の主任教授の張先生たちと北京ダックのレストランで非常に美味しい  
食事と楽しいひとときを過ごす事ができた。



5月27日は午前中、第二附属病院の楊教授の婦人科病棟で楊教授、研修生の薛先  
生たちと回診、症例検討を行い、附属病院長の郭先生、張教授たちと昼食をとったあ  
と、午後は第二附属病院の外来、他の婦人科病棟を見学した。第二附属病院はベッ  
ト数4000床で、そのうち産婦人科のベット数は600床とのことで、その規模の大  
きさにびっくりした。見学のあと、研修医の先生たちに「子宮頸がんとHPV ウィルス」  
と題して講義を行った。中国ではまだHPV ウィルスワクチンの接種は実施されてい  
ないとのことであった。夜は中国式足マッサージのお店に連れて行ってもらい、非常  
にリフレッシュする事ができた。



5月28日は王さんに午前中、張作霖の故居を案内してもらった。日本と中国の関係を知る歴史的な建物をまわることができて、有意義な時間であった。昼食は国際交流センターの潘教授と王さんと3人で、東北部の中華料理をごちそうになり、また今回の訪問の感謝状を頂いた。午後は王さんと清の初代皇帝ヌルハチの公墓となる東陵を見学し、壮大で悠久なる中国の歴史を体験することができ、非常に感激した。夜は戴先生と香川大学の生理学教室に留学していたそのご主人、そして解剖学教室に留学していた林先生とで久しぶりに昔話に話をさかせ、楽しいひとときを過ごすことができた。



5月29日は戴先生と王さんに見送って頂き、無事に日本に帰還することができた。今回の訪問に際し、日中医学奨学制度室室長 榎 洽子さん、総務担当 八百板喜美さん、中国医科大学国際交流センター 王 琛さんに非常にお世話になったことに感謝します。

以上  
(2010年6月1日)